

群馬県都市緑化祭 ふるさとキラキラフェスティバル 花と緑のぐんまづくり2016 in みどり

2016年4月15日から5月15日にかけて「花と緑のぐんまづくり2016 in みどり～ふるさとキラキラフェスティバル～」が開催されました。

みどり市市制10周年として魅力を引き出したフェスティバルとなりました。メイン会場を「ながめ公園」「大間々町市街地」、サテライト会場を「富弘美術館」「岩宿の里」とし、各会場の特色を活かした花壇が登場し、イベントを盛り上げていました。

群馬県造園建設業協会では東毛支部の山田植物園が、「大間々町市街地」会場で作品を制作しました。見本庭園テーマとして「さんぼ道 春のいぶき」を展示し、会場に訪れた皆様は足を止めて作品を見学していました。

来年度の開催会場は、富岡市・安中市の合同開催となります。緑化推進や造園協会発展の為頑張っていきたいと思えます。

(株)森緑造園土木・高橋 光弘



第42回ホリデーイン前橋

年恒例行事になっている青年部一大事業の「ホリデーイン前橋」への参加協力を昨年の

8月21日(日)に行ってまいりました。前日の20日(土)には準備を行い、2日間にわたり青年部一丸となって活動を行いました。当日は天候にも恵まれ、ブースは常に来場者の列ができる程、大盛況でした。出展内容は、ミサンガ制作体験・竹細工体験・シュロバツタ作りなど、参加された方々はとても楽しそうな笑顔に包まれていた様に感じました。

今後も、このようなPR活動を通じて少しでも造園に興味や関心を持ってもらえたら良いのではないかと考えています。また、今後の造園協会の為にもこのような様々な活動によって団結が図れる組織へとつながっていくことを切望いたします。引き続き、青年部の活動を活発に行っていき、10年20年先の未来に向けてみんなで頑張っていければと思います。今後とも青年部へのご支援ご協力の程、宜しくお願いいたします。

(株)しみづ農園・清水 大助



関東甲信造園建設業協会 協議会

平成28年度関東甲信サミットin埼玉が、さいたま新都市で1都8県の会議として開催されました。視察では大宮盆栽美術館に行き、日本を代表する方々の作品が展示されており、圧倒させられました。皆さんも一度、行かれる事をお勧めします。

会議では、共通テーマとして「人材育成」

の各県の取り組みや、現状の離職状況などが話し合われました。特に、若手の人材の確保・育成に努めていますが、なかなか成果が見られず、今後の大きな課題になっているようです。自由課題では、維持管理業務委託の入札参加条件や最低制限価格設定状況など、各県で苦労されている現況が資料により配布されました。会議終了後は、各々がテーブルに分かれて懇親会が開催され、会議中の内容や名刺交換など和やかな雰囲気でした。

来年度は千葉県で開催されます。他県の業者さんと貴重な出会いの場でもありますので、大切にしていきたいと思えます。

(株)川島植物園 川島 良則)



みどりの清掃



第22回みどりの清掃活動を、11月5日(土)に「花と緑のぐんまづくり2017in富岡・安中～ふるさとキラキラフェスティバル～」開催予定地の富岡市にて実施しました。

今回の清掃活動は上州富岡駅前より市街地姫街道（国道254号）～西毛広域幹線道路～高田川親水護岸～富岡駅前広場の約3kmを協会会員やその家族、関係者の総勢60人が参加し約2時間の清掃活動を実施しました。参加された皆様、ご協力ありがとうございました。

また当日の駐車場の手配及び清掃活動にご参加頂いた富岡市役所担当部署職員の方々に

はお世話になり、大変ありがとうございました。

(株)白石植物園・白石 修)



関東三県公園緑地連絡協議会



9月28日、栃木県、茨城県、群馬県の関東三県公園緑地連絡協議会が、栃木県の宇都宮市にて開催され、当協会より、須永会長、役員、青年部の7名が参加致しました。

視察研修として、大谷資料館へ行き、大谷石を切り出した跡地を、コンサートホールや、映画ロケ地として有効活用している現場を見学しました。その後、場所を移動し、各県の「街路樹の維持管理についての取り組み状況」をテーマに、活発な意見交換を行いました。

茨城県では、樹木の強剪定の要望が多くあったため、樹形悪化となり、街路樹を厳しい環境へ追い込んでいるとの話がありました。また、歩道地下の根系調査を受託し、土壌状況により、根上りが見られ、中には倒木の危険性が確認され、大径木の更新や撤去を考える方針の説明等がありました。

栃木県からは、街路樹は紅葉後剪定したいが、近隣住民からの落葉への苦情が出ており、落葉清掃を提案したいとの意見がありました。

群馬県からは、県内造園4団体による街路樹ワーキンググループで実施したアンケートの発表報告をしました。

また、栃木県より、日光の旧英国大使館別

荘整備事業の施工報告があり、日光の新しい観光名所に訪れて下さいとのことでした。その後、交流会が開催され、栃木県会長より、挨拶の中で、栃木国体に向けて、造園工事の発注が多くなる明るい見通しで、会員一同期待しているとの話がありました。茨城県も、国体開催予定があり、工事も多いとのことでした。群馬県としても、是非、造園工事受注に向けた活動が必要と思われました。

最後に、須永会長より、来年度は群馬県での開催となる旨の案内の挨拶をもって、三県交流会は閉会となりました。

(櫻造園(株)・櫻井 幹男)



技能講習会



本年度は造園技能士講習会を真夏の暑い時期の7月30日(土)に前橋職業訓練校で一級技能士3名、二級技能士は2名で実施しました。

午前中は実技試験の講習で受講者は焼けるような暑さの中、汗だくになって課題に取り組みました。終了時には一人ひとりの作品に講評がおこなわれ、細かいアドバイスを受けることができ、たくさんの得るものがあったと思われます。本番の試験が8月後半に行われるので、暑さの経験を踏まえあえてこの時期に実施しております。

午後は葉素試験対策として、50種類程度の枝葉を持ち込み、試験さながらの講習を行

いました。樹木全体を見ればわかりやすいですが、枝葉だけだと分かりにくいものもあり、受講者は良い経験になったと思います。

これからも、技術の継承・向上・育成に貢献し、業界の発展に繋がるよう実施していきたいと思ひます。(有安中造園・川原田 和広)



ロープ高所作業特別教育



造園業に適したロープ高所作業特別教育が9月20日に開催されました。

この特別教育は平成28年7月1日に施行開始になりました。高さ2m以上で作業床や足場の設置が困難な場所でロープを使用し安全やワークポジション確保を行う時に必要な作業資格です。対象になるのは経営者や監督ではなく作業員です。ロープ高所作業は建設業やメンテナンス業で多く利用されていますが、高所作業による転落・墜落事故が後を絶たない状況が続いており、我々造園業会でも毎年事故の報告があります。造園は特殊な現場が多く安全帯と共にロープ高所作業を正しく実施し、安全確保とコンプライアンスを遵守し労働災害をなくす必要があります。まだ資格の存在や安全意識の少ない方が多いためこれからも教育の開催を頻繁に企画する予定です。今後も街路樹剪定士とロープ高所作業特別教育を実施し、作業員の安全とスキルアップを提供していきます。(群馬庚申園(株)・山口 雄資)



担い手3法について



防災・減災、インフラ老朽化対策や耐震化などの担い手として、建設業界の役割が重要であるにも係らず、入職者の確保に悩まされているのが建設業界の現状です。

そこで、ダンピング受注を防止し、インフラ等の品質確保とその担い手確保を実現するため、公共工事の基本となる「品確法」を中心に、密接に関連する「入契法」「建設業法」を一体として法改正された総称「担い手3法」が平成26年に制定されました。

この改正により、

- ①ダンピング対策の強化
- ②契約の適正な履行の確保
- ③建設業団体及び建設業者に担い手の育成・確保の責務

等が強化されました。

担い手3法は、造園建設業界の持続的発展



の基盤を強固にするものであり、協会として担い手3法による新たな措置を十分に理解し、的確に対応・行動することにより未来を切り開いていきましょう。 (株)山梅・山田 通明

街路樹剪定士



(一社)日本造園建設業協会群馬県支部主催による街路樹剪定士研修会・認定試験が11月3日(木)、4日(金)と開催されました。定員30名の内半数以上が当協会の社員です。

1日目は学科研修会を造園会館にて行いました。9時から18時まで街路樹に関する講義を受けた後、1時間程の学科試験を受けて終了しました。

2日目は実技試験です。受講者は2樹種を剪定します。前橋市芳賀東部工業団地の街路樹(カツラ)の剪定実技試験を8時半から12時迄を午前の部、前橋市嶺公園東側墓地内通路の街路樹(イチョウ)の剪定実技試験を13時半から15時迄を午後の部として行われました。樹木の大きさがまちまちなので時間が2時間程遅れで終了となりましたが、受講者全員が真剣に試験を受けていました。この事により群馬県では、200名以上の人が街路樹剪定士となります。

観光県群馬として、街路樹が統一された樹形で、きれいな街並、景観が保たれる事と思います。 (株)カネサ園・澤口 浩美

